道徳の時間学習指導案

東広島市立御菌宇小学校 教諭 大山 紀子

- 1 日 時 平成 26 年 12 月 11 日 (木) 第 4 校時
- 2 学 年 第 5 学年 男子 14 人 女子 11 人 計 25 人
- 3 主題名 働くことの意義 4－(4) 【関連項目 1－(6)】
- 4 資料名 「母の仕事」(日本文教出版「生きる力」6)
- 5 ねらい つらい仕事だったらやめればいいのかと考えていた「ひろ子」が、体が疲れていても意欲的に働き、自信と誇りをもって働くことの意義やすばらしさを語る母の姿を通して、働くことの意義を理解し、社会に奉仕することの喜びを知って社会のために役立つことをしようとする意欲を高める。

6 主題設定の理由

- 本主題は、小学校学習指導要領解説の道徳編の 4－(4)「働くことの意義」を基に設定した。勤労を尊ぶ心を育てながら働くことの意義を理解し、社会の役に立つことができるようにしようとする内容項目である。特に高学年においては、勤労が自分のためだけではなく、社会生活を支えるものであることを理解し、社会への奉仕活動など社会のために役立つ活動に目を向け、積極的に取り組むことができるようにすることが重要である。またそのことから得られる喜びを基に、社会に奉仕し、社会のために役に立つことをしようとする意欲を高める必要がある。
- 本学級の児童は、明るく活動的で、積極的に行動しようとする児童が多い。同学年の友達同士のグループで協力したり、優しい声かけをしたりしている児童は多い。しかし、日々の学校生活において縦わり班での清掃活動など、下の学年との関わりはあるものの、高学年として下の学年の児童のことを配慮した言動はあまり見られない。自分はまだ最高学年ではないということや、自分のことさえきちんとしていれば良いといった側面など、「誰かのために」役立つ仕事をすることに喜びを感じるような体験をあまり経験していない。
- 本資料は、移動浴槽車の看護師として働く母の仕事の話を聞き、主人公ひろ子が母の仕事のやりがいや大切さに気付き、自分の考えが変わっていく話である。働くことには手間がかかったり、根気強さが必要であったりするなどの大変さがある。しかし、本資料の母は主人公ひろ子に対して、その大変さだけではなく真摯に自分が働くことの喜びについて語り、相手の「笑顔」を見たときに、自分の仕事のやりがいや意義を見いだしている。働く意義について考えさせ、話し合わせることで、児童それぞれに働くことの意義や尊さに気付かせることのできる資料である。
- 指導に当たっては、主人公ひろ子の気持ちに寄り添わせながら資料を読み進める。資料を基に、「働く」とは、どういうことなのかについて話し合いを深め、道徳的価値の自覚を深めるようにする。児童の主体的な学びを引き出すために、児童の自由な資料の感じ取りを生かした話し合いになるようにする。つらい仕事だったら、やめればいいのかと思うひろ子が、母の話を聞いて変容していくところに視点を当てて話し合い、「働く」ことの意義について深めていく。

展開前段では、疲れきっている母の腰をもみながら、「お仕事やめればいいのか。」と言ったひろ子の気持ちに共感させる。その後、母の仕事の話を聞くことによって働くことの意義や働くことの喜びに気付かせていく。展開後段では、社会の一員として、働くことの意義を理解し、社会のためになる仕事を進んでしようとする意欲をもって生活することは、大切なことであることに気付かせる。自分自身の学校生活について振り返りをさせるとともに、総合的な学習の時間の「学校ごっこ」において、年長児に対してこれからどのような考えをもって関わっていくことが大切なのかについて話し合わせ、「誰かのために」働くことに喜びを感じる体験へと関連付けていきたい。

7 学習指導過程

段階	授業展開	主な発問 (○) と中心発問 (◎) 予想される児童の心の動き (・) 太字 文脈学習の視点を取り入れた活動 【 】 文脈学習の視点	留意点 (・) 及び評価 (☆)
導入	1 今までの体験を振り返る。	○ 委員会活動や縦割り班そうじなどでどんなことを考えて仕事をしていますか。 【日常生活とのつながり】 ・ 委員会活動は、自分の仕事を忘れないようにやらなくてはいけないから大変だ。 ・ 一年生に、そうじを教えるのは大変だ。 ・ 嫌だなあと思う時がある。	・ 日々の学校生活の自分の仕事の大変さやしんどさ等について自由に交流させる。 ・ 仕事をやらされているという思いも出させる。 ・ 様々な意見を出し合えるような雰囲気を作る。
展開前段	2 資料を聞いて話し合う。	○ 「ひろ子」は、どんな気持ちから母に対して「お仕事やめればいいのに。」と言ったのでしょうか。 ・ お母さんの体のことが心配だ。 ・ そんなに大変な仕事なら、やめたらいいのになあ。 ・ 毎日、腰をもむのは嫌だなあ。 ○ お母さんは、どんな気持ちで働いているのでしょうか。 ・ 責任のある仕事だが、人の役に立つ仕事を喜んでしている。 ・ 寝たきりの人が喜んでくださる「笑顔」が、自分の支えだ。 ◎ 仕事のことを話すとき、母の顔には大きな喜びと満足があふれているのは、どうしてでしょうか。 ・ 大変な仕事ではあるが、誰かの役に立っているという「やりがい」があるから。 ・ 仕事に対する「誇り」があるから。 ○ 働くとはどういうことでしょうか。 ・ 人の役に立つこと。 ・ 人を笑顔にすること。 ・ 責任をもって行うこと。 ・ 生きていく上で大切なこと。	・ 母の身体を心配する気持ちに共感させる。 ・ 「ひろ子」の母に対するいたわりの気持ちと同時に、毎日腰を揉みたくないという気持ちもおさえる。 ・ 母の仕事の内容を聞いて、日頃聞かない母の仕事の内容について関心を持つ「ひろ子」に共感させる。 ・ 「笑顔」が自分の仕事の支えであるという母の思いに注目させる。 ・ 母の大きな喜びと満足があふれている表情に注目させる。 ・ 児童の話合いの発言から「働くことの意義」を整理するようにする。 ☆働くことの意義を理解し、社会に奉仕することの喜びを知ることができたか。 (ワークシート)
展開後段	3 生活を振り返る。	○ これから人のためにやってみたいことや、日常生活の中で役に立ちたいことを考えよう。【日常生活とのつながり】 ・ これまでは、6年生に仕事を任せてしまっていたなあ。 ・ 自分にできることを考えていこう。	☆社会のために役立つことをしようとする意欲をもつことができたか。(ワークシート)
終末	4 本時の振り返り。	○ 「学校ごっこ」を終えた年長児が書いたお礼の手紙や笑顔の写真を紹介する。	・ 昨年度の年長児の手紙や写真を紹介することにより、仕事の意義について考えさせる。

8 板書計画

学校ごっ この写真	場面絵	場面絵	場面絵	
<p>これまでの自分</p> <ul style="list-style-type: none">・ 六年生に任せてしまっていた。 <p>これからの自分</p> <ul style="list-style-type: none">・ 役に立つ仕事を自分もやってみたいなあ。	<p>四 働くとは</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人の役に立つこと。・ 人を笑顔にすること。・ 責任をもって行うこと。・ 生きていく上で大切なこと	<p>三 仕事のことを話すとき、大きな喜びと満足があふれているのはどうしてでしょう</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「やりがい」があるから。・ 仕事に対するほこりがあるから。	<p>二 お母さんは、どんな気持ちで働いているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 人の役に立つ仕事を喜んでしている。・ 寝たきりの人が喜んでくださる「笑顔」が、自分の支えになっている。	<p>一 どのような気持ちから母に対して「やめればいいのに。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ お母さんの身体が心配だ。・ しんどい仕事ならやめたほうがいい。・ 毎日腰を揉むのは嫌だ。

母の仕事

今までの体験を振り返って